AGENT サムラッチ錠取替用プッシュプル錠 取付説明書(RELOXI 648)

屋外

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 本製品のご使用に際しましては、この取付説明書をよくお読みの上、正しく安全にお取り扱いください。 また、この取付説明書はいつでも取り出せる場所に保管していただきますようお願いします。

M5×65

2本

サムターン (押して回す)

図3 -1

M6×50

2本

重・グリップハンドルにぶら下がったり通常以上の付加をかけることは、決してしないでください。危険なばかりか錠前が正常に機能しなくなる恐れがあります。 要・必ずよくお読みのうえ、正しく施工してください。 ・取付作業中は扉が閉まらないように固定してください。

1.取付の前に必ずご確認ください。 1 - 2 | 棚包内容一覧 図 1-1-1 チリ寸法と扉厚 図 1-1-3 フロントサイズ 扉厚の測定方法 1 - 1 . 取付可能条件 ●外開き扉(内開き扉には取付できません。) チリオ法ラ ●バックセット:64 mm ●適 応 扉 厚:32~42 mm 枠 ●チ リ 寸 法:2~5 mm 1個 L型フロント ストライク ※図は右勝手用です。 ストライク ●右勝手用、左勝手用が存在します。 1個 ポックス ストライク ボックス 握玉取外し (7) 左勝手用はラッチの向 図 1-1-4 ※図は右勝手用です. (A) (B) (B) 左右の勝手に間違いが無いか図 1-1-5 より (A) 金具 場合のの寸法です。詳しく は別紙『補助部品の使用例』 きが逆になります。 左勝手用はL型部分 1個 1個 メーカー名 確認してください。 が左右対称になります。 を参照ください。 ●扉の追加加工が必要です。 図 1-1-5 左右勝手の確認 裏面の切欠加工が可能か確認してください。 右 勝手 左勝手 ●扉の外部ハンドル、内部ハンドルが装着する部分は 屋内 屋内 平である必要があります。裏面を参考に補助錠や 外部ハンドル 内部ハンドル 本体取付ネジ 本体取付ネジ 錠ケース取付ネジ 錠ケース取付ネジ 1セット リブの干渉が無いか確認してください。 1セット

1-3. 梱包内容一覧(補助部品)

※補助部品は状況に応じてご使用ください。使用方法は別紙をご参考ください。



3.外部・内部ハンドルの取付

屋外

3-1. 内部ハンドルの表示部分が緑色になっているか確認してください。 表示部分が赤色の場合はサムターンを押して回し緑色に変えてください。

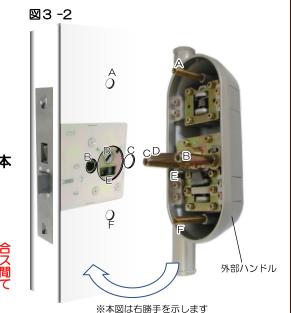
3 - 2. 外部ハンドルを扉の外側から差し込みます。(図3 -2) 扉と錠ケースの孔A~Fに外部ハンドルの突起A~Fを合わせて差し込みます。 製品の落下には十分にご注意ください。

3 - 3. 内部ハンドルを扉の内側に当て、4本のネジ(M6x50 2本(左右方向)とM5x60 2本 (上下方向))を均等にしっかり締め付けてください。(図3-3)

※図は右勝手用です。左勝手用はハンドル部分が左右対称になります。

最初は緩く仮締めし、内外ハンドル及びサムターン(シリンダー)がスムーズに動く位置に調整した後、 しっかり締め付けてください。 製品の落下には十分にご注意ください。使用中に取付ネジに緩みが生じたら直ぐにネジを締め直してください。

3 - 4. ストライク、ストライクボックスAまたはBを取付けてください。



4.1 × 20(木扉用)

4本

M4 × 2 O (鉄·アルミ扉用

8本

2.錠ケースの取付

(注意 3)

注以下取付作業には軍手などの手袋をご使用ください。 **意作業中は扉は必ず開けた状態で行い閉まらないように固定してください。**

2-1.切欠き孔を加工してください。

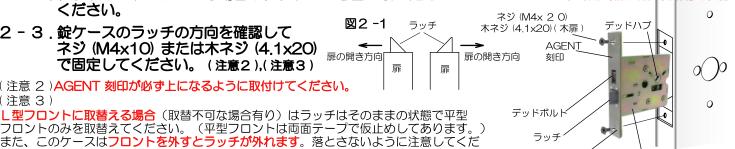
(決して元と反対に入れないでください。)

裏面の切欠き図の寸法通りに切欠き孔を加工してください。(注意 1)扉の垂れ下がり歪みなどが生じて枠と扉が接触している 場合は先にそれらの修理をしてください。

2-2.デッドボルトが出ている場合はデッドハブを回し引っ込めて ください。

さい。万一、ラッチが外れた場合は図 3-1 を参考に元の通りに正確に入れてください。

2-3.錠ケースのラッチの方向を確認して ネジ (M4×10) または木ネジ (4.1×20) _{扉の開き方向} で固定してください。(注意2)(注意3)



錠ケース 立型 フロント ※本図は右勝手を示します

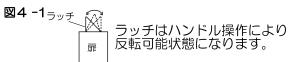
図3 -3 に挟みストライクの高さを調整して ネジ(M5×65) $(M6 \times 50)$ ネジ (M5×65 内部ハンドル

※本図は右勝手を示します

4.動作確認

4-1. 内外ハンドル操作、サムターン、キーの操作で正常 に作動するか確認してください。

ラッチは内外のハンドル操作により向きが反転可能状態になります。 (ハンドル操作だけではラッチの出入りはありません。)

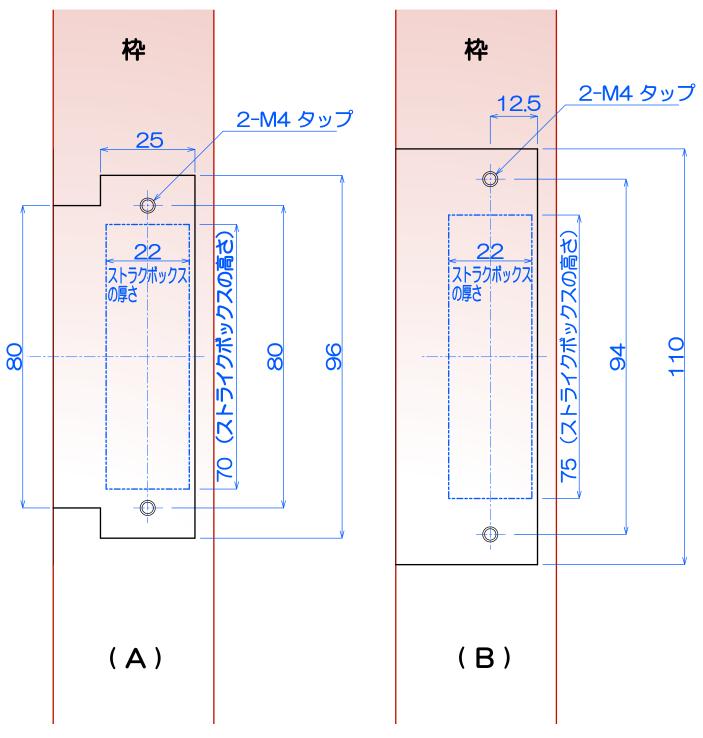


4-2. 扉の開閉作動を確認してください。 4-1 が正常に作動する場合にのみ行ってください。 必ず屋内側より行ってください。

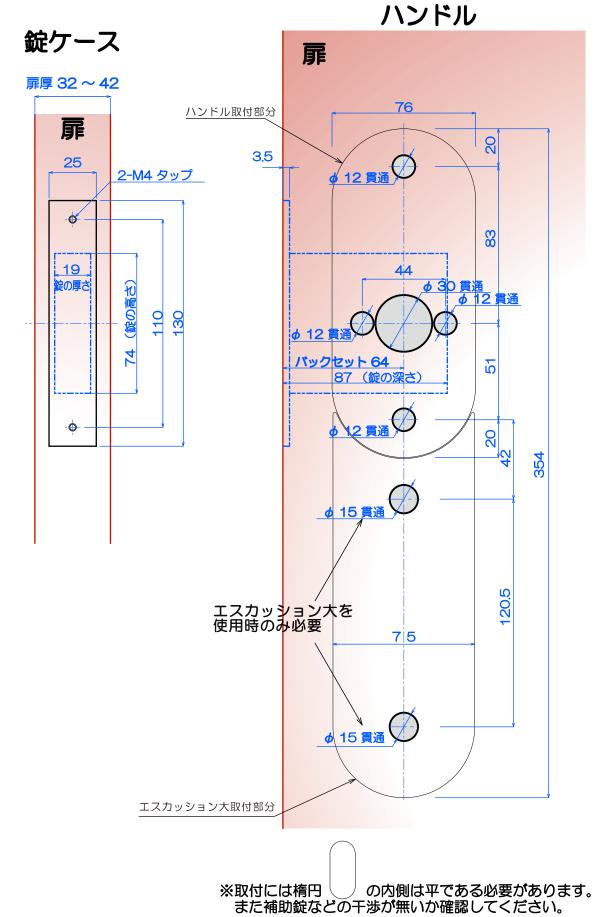
RELOXI-64S 切欠き寸法図

縮尺1:1

ストライク



縮尺1:2



補助部品の使用例 企業 補助部品は状況に応じてご使用ください。 意 雇や枠の切欠きなどによりご使用出来ない場合もあります。

